

子どもは「母親の背中」を 見て育つ時代!

8月21日、兵庫県公館にて、
ひょうごユニバーサル子育てフォーラム(兵庫県、社会福祉法人プロップ・ステーション共催)が開催された。

プログラムのなかの鼎談「すべての子どもが生き生きと育つ社会のために」には、
“バワフルおかん”の3人が登場。子育ての楽しみや、「働く母」の苦労を語り合った

構成◎佐藤万作子 撮影◎山田哲也



大平光代

弁護士

おおひら みつよ 1965年兵庫県生まれ。29歳で司法試験に一発合格。弁護士として活躍し、非行少年の更生に努める。2003年から05年まで大阪市助役。06年に結婚、娘の悠ちゃんを出産。11年より神戸常盤大学短期大学部客員教授を務める



村木厚子

内閣府政策統括官・共生社会政策担当

むらき あつこ 1955年高知県生まれ。78年に労働省入省。女性局女性政策課長、雇用均等・児童家庭局長等を経て、現職。子ども・子育て施策(少子化対策)、子ども・若者の育成支援、障害者施策、自殺対策などを担当する。2女の母



竹中ナミ

社会福祉法人プロップ・ステーション理事長

たけなか なみ 1948年兵庫県生まれ。重症心身障害の長女を授かったことから、独学で障害児医療・福祉・教育を学ぶ。91年、プロップ・ステーションを発足、98年に厚生大臣認可の社会福祉法人格を取得、理事長に就任。NHK経営委員も務める